

## 経験者の体験談

Aさん（女性）

私は、今から9年前勤務先の健康診断における尿検査で少し異常が見つかりました。大学病院婦人科外来での検査結果は悪性の子宮頸がんとのことでした。

「後、ひと月発見が遅かったら死んでいたね」とのことでした。

それから子宮と卵巣の全摘出手術を受けて約22日の入院生活の後自宅療養2週間後、仕事復帰することができました。

私は、子どもの頃健康体ではありましたが、感受性が強く時にはくじけてしまうような子どもでした。将来を悲しんだり、希望をもてない時期もありました。しかしながら、がんという大病をしてからは変わりました。がんを見逃して、もしかしたら死んでいたかもしれない命、縁あって再び与えられた命に感謝して大切に生きています。

Bさん（男性）

私は長年事務の仕事をしてきました。身体には気を付け規則正しい生活をしてきましたので健康には人一倍自信がありました。ところが、2年前の3月に微熱が2週間ほど続き「風邪かな？」と軽い気持ちで近くの町医者に行ったのですが、色々と検査の結果、先生から「おそらくがんです、一刻を争うからすぐに大きな病院に行きなさい」と告げられました。間違いであって欲しいと願いながら大学病院に行きました。7ヶ月の入院治療で何とかがんの数値が正常値になりその時に助かったんだという実感がふつふつと湧いてきました。

しかし、1年もたたない去年の夏の定期検診で、再発が見つかりました。治ったと信じていたので、奈落のどん底に落ちた気持ちになりました。再治療の決心はしましたが、最悪のことも考え身辺整理をして入院しました。治療は、前回よりも強い薬を使うことになり、身体のダメージや精神的不安で毎日が本当に辛かったです。日々衰えていく身体・気持ちを周りの人達に支えられ、頑張ることが出来ました。今年の2月に「経過観察でいきましょう」といわれ現在に至っております。

## 生命のがん教育実施校募集！

医療関係者とがん経験者が授業を行います。

授業を希望される学校は、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 京都府健康対策課 075-414-4766

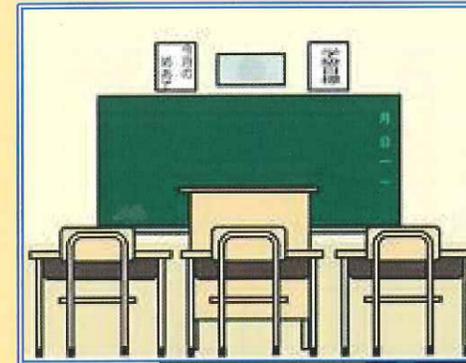
医療関係者とがん経験者が  
学校に出向き、授業を行います！

# 「生命のがん教育」

実施校を募集しています。



(いのち)  
なぜ、今、「生命のがん教育」なのでしょう？



A

いま、日本人の2人に1人が、一生のうちが  
がんになるといわれており、がんは日本人の  
死亡原因のトップとなっているからです。

- がんによる死亡を防ぐため、子どもの頃から健康的な生活習慣などを学びます。
- がん経験者の話を聞き、いのちの大切さを学びます。
- 子どもへの教育だけでなく、家族でがんの予防や検診について考え、家族全員が意識を高められるようにします。

京都府健康福祉部健康対策課

# 「生命のがん教育」の主な内容は？

## 1 教育における視点

- がんに関する正しい知識の普及
- 親子で取り組むがん予防
- 健康的な生活習慣の習得
- がん予防の対策
- 早期発見、早期治療の大切さ
- いのちの大切さを学ぶ

※成人のがんについての一般的な知識を学ぶもので、小児がんについて学ぶものではありません。

## 2 授業内容（中学校の場合）

### 生命のがん教育 中学生向けプログラム【例】

1 事前アンケートの記入

2 授業

医療従事者	がんとは何か がんの予防	発生・日本人死亡原因1位等 禁煙、正しい生活習慣等
がん経験者	がんになった人の話	早期発見で生存率高まる・様々な治療 がんと向き合い、命の大切さを知る。

3 意見交換・自分の生活を見つめ、家族にも話そう

4 事後アンケート

## 3 がんに関する教育のねらい

子どもたちに「がん予防」の生活習慣に関心をもってもらい、  
がんを予防するために自分たちでできることに取り組む

子どもが家庭で話題に取り上げることで、「がん予防」や  
「がん検診」などの情報を普及啓発する

- 生涯にわたる健康な生活習慣の習得
- 将来に向けた「がん」による死亡者の減少

## 4 授業の内容（イメージ）

### 「がんの知識について」

**「がん」ってどんな病気？**

人間のからだでは、毎日たくさんの細胞が生まれ、死んだりしていますが、なかには、「がん細胞」になってしまうものもあります。がんは、がん細胞がどんどん増えていく病気です。

正しい生活習慣の中にがん細胞ができて、がん細胞がどんどん増えていき「がん」となります

ほおっておくと、がん細胞が体中にひろがり、栄養を奪って、血管や内臓が正常に働かなくなり死亡してしまいます。

### 「がんの予防について」

**たばこは吸わない**

成人する前にたばこを吸い始めた人は、成人になってからたばこを吸い始めた人に比べて、その危険性はより大きいことが分かっています。

### 「がん検診について」

**定期的ながん検診を受けましょう**

がんを早い段階で見つけることで、治療によって治せる可能性が、**確実に高くなります。**

家族がなくても検診を受けることが大切です！

### 「がんになった人の話」

**がんを経験された方のお話**

### 京都府がん教育プログラムの特徴

- 学校等の意向に応じた時間枠での授業を基本に学年に応じたプログラム
- がん経験者の話を聞き、命の大切さを学び、がんを自分のこととして考える学習内容
- 親世代への検診受診アクション

### 指導上の配慮

#### (1) 小児がんへの配慮

○授業で取り上げるのは成人のがんであり、小児がんではありません。学級に小児がんの治療中、または治療後の子どもがいる場合の配慮を行います。

#### (2) 家族が、がん患者または、がんによって亡くなられた子どもへの配慮

○家族をはじめとする身近な人が、がんの治療中、またはがんにより亡くなった子どもへの心理的な配慮を行います。

#### (3) 生活習慣とがんの関連性への配慮

○この授業では、がんを予防するために生活習慣の大切さを推奨する内容を取り扱います。生活習慣の改善によって、将来がんになる可能性を低くすることが出来ますが、完全にがんを防げるということではありません。